

来年度の取組の進め方について



1 「北海道Society5.0推進計画」の全体像

「北海道Society5.0推進計画」

概ね10年後（2030年頃）の「北海道の未来社会」である「北海道Society5.0」の実現に向け、その中間である2025年までに取り組むアクションプラン。

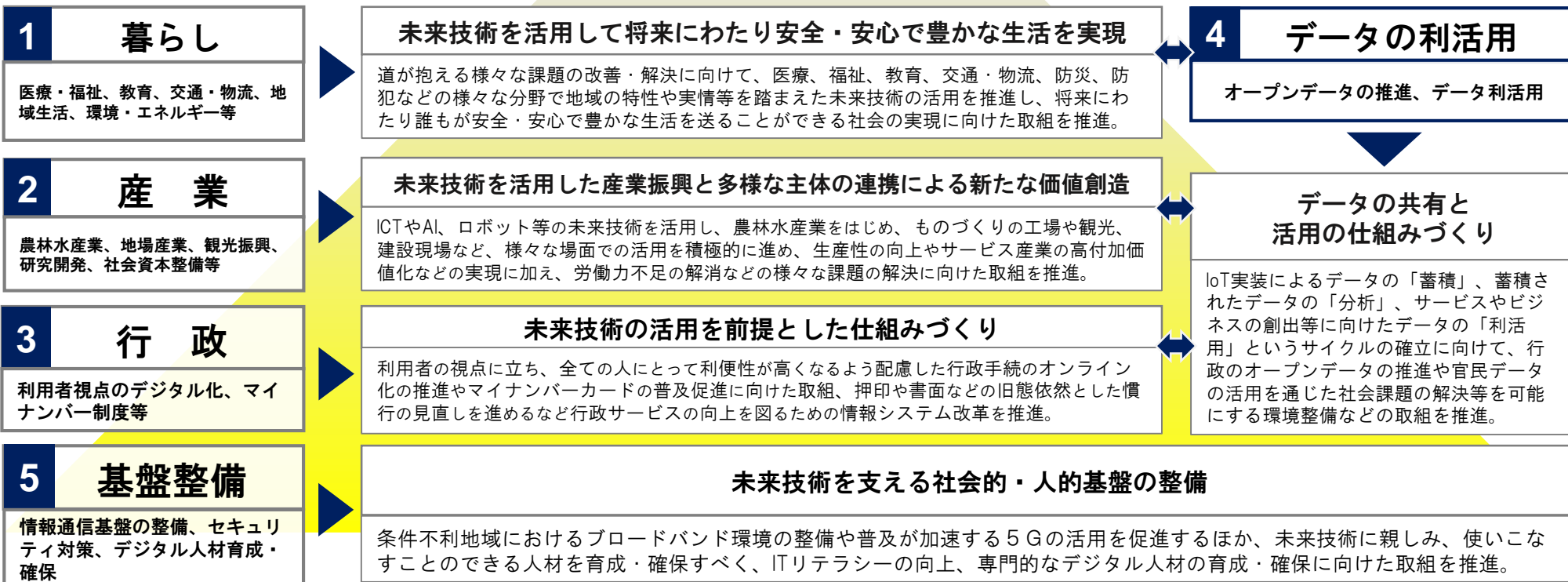
基本理念

『未来技術を活用した活力にあふれる北海道』の実現

計画期間

2021（令和3）年度～2025（令和7）年度

取組方針



2 施策展開のロードマップ

区分		2021	2022	2023	2024	2025	2030
暮らし	医療・福祉	コロナ対応 感染症の流行に備えた対策	安いで質の高い医療・福祉サービスの強化 北海道の未来をけん引する人づくり 道民生活の安全・安心の確保と利便性の向上	住民の暮らしに欠かせない地域交通・物流の安定的な確保 環境への負荷が少ない持続可能な社会の構築 強靱な北海道づくりと都市一極集中の解消			
	教育						
	地域生活						
産業	農林水産業	経済活動への影響対策	農林水産業の持続的な成長 地域経済を支える中小・小規模企業の産業力強化と新たな成長企業の創出 「北海道Society5.0」の実現に向けた研究開発の推進	多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進 産業活動や暮らしを支える社会資本の戦略的・効率的な整備			
	地場産業						
	研究開発						
行政	利用者視点のデジタル化	行政のデジタル化の推進	利用者視点でのデジタル化の推進 マイナンバー制度の円滑な運用とマイナンバーカードの普及・活用				
	マイナンバー制度						
データ	オープンデータの推進	接触確認アプリ等を通じた感染まん延の防止	広範な主体による公共データの利活用に向けたオープンデータの推進 官民連携による安全・安心なデータの利活用を通じた道民生活の向上				
	データの利活用						
基盤	情報通信基盤の整備	光ファイバ整備を通じた情報通信基盤の確保	「北海道Society5.0」の実現を加速させる情報通信基盤の整備 「北海道Society5.0」を支えるセキュリティ対策				
	セキュリティ対策						
	デジタル人材の育成・確保		「北海道Society5.0」の実現に向けたデジタル人材の育成・確保				

「北海道Society5.0」実現へ

3 令和3年度の推進体制（イメージ）

「北海道Society5.0推進会議」が中心に、道民、市町村、企業・団体、大学等研究機関と連携・協働して、IoT実装による地域課題の解決を図るとともに、データを収集・蓄積・利活用する「データサイクル」の確立を通じて、「北海道Society5.0」の実現に向けた取組を加速させる。

北海道Society5.0推進会議

概要

- 学識経験者、関係機関、行政機関、民間企業等が連携・協働し、オール北海道で「北海道Society5.0」の実現に向けた取組を進めるための連携基盤。
- 未来技術の実装に向けて地域の課題やアイデア、先行事例などの情報共有や地域課題に対する民間企業等の未来技術のマッチングを図り、創造力にあふれ、道民視点に立った施策の展開を図る。

委員構成(案)

道内学識経験者、経済団体、道内情報産業団体、国、市町村 など

議題(案)

- 北海道Society5.0推進計画の推進
(IoT実装の推進、データ利活用、人材の育成・確保など)



【進め方の例】

- ✓ モデル地区を設定し、データ利活用や人材育成・確保に向けた取組を官民挙げて推進。
- ✓ 取組の成功も失敗もオープンにすることで他地域での横展開の後押しする。

連携・協働

市町村（実装フィールド）

連携・協働

企業・団体（技術の提供）

連携・協働

大学等研究機関（技術の研究開発）

連携・協働

道民（サービスの受け手）

4 意見交換の視点

意見交換では、下記の点について委員の専門も交えながらご発言をいただきたい。

1 令和3年度の推進体制について

2 令和3年度以降の取組の進め方について